



本場イタリアオペラスタッフによる指導が実現 マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」 ソリスト、合唱、オーケストラメンバー募集！



指揮

デメートリオ・モリッカ

Demetrio Moricca



バリトン

ロベルト・ボルトルツツィ

Roberto Bortoluzzi



代表

コレペティトール

峯川 知子

一般社団法人サルバベルカント・アソシエーション・ジャパン（代表：峯川知子以下当団）は2023年3月に演奏会形式で上演するマスカーニの歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」に出演するソリスト、合唱、オーケストラメンバーを募集いたします。当団はオペラ、オーケストラなどクラシック等の外国音楽や外国声楽の普及及び音楽家、楽団、指導者の育成、音楽を通じた外国との文化交流を行うことにより、日本の音楽・声楽文化の普及及び発展を図り、よって国民の健全な心身の発達に寄与することを目的として活動しております。このたび生誕160周年を迎えるピエトロ・マスカーニの名作オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」を演奏会形式にて東京ならびに大阪で上演いたします。指揮にはデメートリオ・モリッカ、ソリストとしてロベルト・ボルトルツツィ（バリトン）をイタリアから招聘しさらに本場イタリアの劇場でコレペティトールとして研鑽を積んだ峯川知子のトリプル講師陣により指導を行います。ご参加いただいた皆様に直接指導し、一緒に舞台を創り上げていきます。

■公演概要

オーケストラによるコンサート形式のオペラ

*落語による解説付き 落語家 鈴々舎馬るこ

サントウツア、ローラ、トゥリッドウ、アルフィオ、ルチア
各ソリスト、合唱、オーケストラをオーディションにより決定

■日程・場所

《東京》 2023年3月3日(金)

渋谷区文化総合センター大和田さくらホール

18時30分開演 18時00分開場

《大阪》2023年3月11日(土)

豊中市立文化芸術センター大ホール

18時30分開演 18時00分開場

■チケット取り扱い

サルバベルカントホームページ／イープラス／チケットぴあ／ローソンチケット
豊中市立文化芸術センターチケットオフィス（大阪公演のみ）



■募集要項・参加お申込について

ソリスト、合唱、オーケストラを随時募集、オーディションを行っております。

募集は2022年12月末締め切りといたします。

弊社のホームページにございますお申し込みフォームよりお申し込みください。

（右記のQRコードからもお申し込みフォームへお進みいただけます。）

ソリスト・合唱のお申し込み



■指導者プロフィール

デメトリオ・モリッカ Demetrio Moricca〔指揮〕

4歳で音楽の世界に入り、クラリネット奏者としてナポリ音楽院にて勉強を始めるも、その後オーケストラ指揮コースに編入し、これを最優等で卒業。2017年以降、数々のプロダクションでネルロ・サンティのアシスタントを務め2019年にはアントニーノ・ヴォット賞ファイナリスト及びロンドンクラシカルソリスト指揮コンクール特別賞を受賞。巨匠サンティがひとときわ目をかけた若手指揮者として今後が強く期待されている。

オーケストラのお申し込み

ロベルト・ボルトルッツィ Roberto Bortoluzzi〔バリトン〕

ヴェネツィアトレヴィーゾ生まれ。往年の大ソプラノ、イヨランダ・ミキエーリに17年間師事。2003年"エンツォ・ダラ"コンクール1位。ヴェルディのオペラではリゴレット、椿姫(ジェルモン)、ナブッコ。プッチーニではトスカ(スカルピア)、ラ・ボエーム(マルチェロ)など数多くの作品に出演。ラ・ボエームはクラウディオ・デズデーリの指揮で好評を博した。ドニゼッティの愛の妙薬ではドゥルカマーラなど、オペラ・ブッフアの喜劇役として特出した才能を発揮している。2014年1月には浜離宮ホールにて世界初ヴェルディのバリトンのオペラアリア40曲を一夜4時間半で歌う偉業を成し遂げその優れた発声法を証明した。巨匠ネルロ・サンティからは「オペラの正統的スタイルを継承しヴェルディの作品に素晴らしい資質を発揮するバリトン。若き才能はこれから将来にわたりさらに向上するだろう」と推奨される。現代に正統的なオペラ全盛時代のテクニックを継承し、ヴェルディのバリトン役を歌いこなす声を持つ世界でも数少ない貴重な本物のヴェルディアーノである。ヴェネト共和国外交コンサルタント。

峯川知子〔コレペティートル〕〔主催、企画〕

イタリアの劇場で研鑽を積み、世界的バリトン、アントニオ・サルバドリーからの秘伝テクニックを伝授された唯一のコレペティートル。1995年ローマでシルビア・シルベリに師事し歌と伴奏法を学ぶ。1996年ロッシーニ音楽院の教授であり歌劇場ピアニストのカルロ・モンガンティの内弟子として、約300年の歴史あるテアトロペルゴレージで8年間オペラ公演に携わる。1997年よりモンテプルチャーノ音楽祭において、総監督エンリケ・マッツォーラの信頼を得アシスタントピアニストを3年務める。その後世界的バリトン歌手アントニオ・サルバドリーより極秘テクニックを教わるためヴェネツィアに住居を移し、その際、門外不出にしていた歌唱テクニックを亡くなる前の2年間で伝授される。2005年アントニオ・サルバドリー直伝のオペラ歌唱法を広めるため、サルバドリーの名前を冠して「サルバベルカント」を興す。2007年ベルカント唱法の至宝ロベルト・ボルトルッツィとの知己を得る。現在、歴史と風土から醸成された伝統的イタリアオペラの魅力を発見しつつ公演活動、歌への指導に邁進している。

■「カヴァレリア・ルスティカーナ」について

イタリアの作曲家ピエトロ・マスカーニのイタリア語によるシチリアが舞台の全1幕(約70分ほど)のオペラ。19世紀末から20世紀初頭に流行したヴェリズモ(現実主義)・オペラの中でも代表的なオペラの一つとして知られる悲劇のオペラである。元恋人と寄りを戻してしまった男は彼女のジェラシーにより悲劇の運命に向かう。とりわけ有名で人気の高いのがこのオペラ INTERMEZZO(間奏曲)である。決闘の末に「死」という劇的な結末を迎えるヴェリズモオペラならではの作品である。

■一般社団法人サルバベルカント・アソシエーション・ジャパンについて

『サルバベルカント』とは、亡き師のアントニオ・サルバドーリのサルバと、イタリアの伝統唱法ベルカントを合わせた造語です。ベルカントとは、Bel Canto すなわち「美しい歌」「美しい歌唱」。サルバとは salva 救う、を意味し、今や世界中で失われつつある幻のベルカントを取り戻す、偉大なるムーブメント(芸術運動)でもあります。

オペラ全盛期に確立された発声法は、「自然で美しい声」「声域の高低にわたって均質な声質」「日々の鍛錬によって高度に華麗な音楽を苦もなく発声できること」にあり、最高のイタリア人歌手の歌唱を聴くことではじめて理解しうる名人芸とされていました。すなわちベルカントとは、単に美しい歌や歌唱、発声法という意味だけではなく、「イタリアの至宝」を意味しイタリアの歴史そのものであると言えるでしょう。それは、心身ともに歓喜の渦に包まれる最高の体験であり、音楽の祝福を受けること。この発声法を学ぶことは、貴重な「イタリアの至宝」を身につけることに他ならないのです。いま、私たちの活動は、そうした素晴らしい発声法を伝えていくために、日本のみならず、世界中に活動の場を広げています。

例えば、イタリアやルーマニアなどヨーロッパを中心に、世界各地の劇場でのコンサートを予定。この素晴らしいベルカントを学ぶことは、同時に世界中のステージで歌い、この発声法を伝えていくことを意味しているのです。プロであることやアマチュアであることは関係ありません。この発声法を身につけた人なら誰でもサルバベルカントの担い手として賞賛されステージで喝采を浴びる、何物にも変えがたい素晴らしい体験ができるのです。

この発声法は、極めてリラックスした呼吸法を用いることが特徴です。したがって、無理な力を使うことなく遠くまでよく響く声で歌うことができる唯一の発声法であるため、歳を重ねて筋力が衰えても、声が揺れたり高音が出なくなったりすることがありません。いつまでも若々しく、ハリのある声で歌うことが出来るでしょう。さあ、あなたも観衆からベルカントの継承者へ。私たちと共にステージに立ちませんか。ここから、まさにあなたの人生の新たな幕が上がります。

お問合せ先

サルバベルカントオフィス TEL：03-6427-2995 (営業時間 10:00～18:00)

担当：090-1224-7316 (後藤)

MAIL：info@salvabelcanto.or.jp



ホームページ

QRコード

主催：一般社団法人サルバベルカント・アソシエーション・ジャパン

協力：パシフィックフィルハーモニア東京